

トリナ・ストレージ 「Elementa 2」国際的な安全認証を相次ぎ取得

IEC 62619・NFPA 68/855 に適合、日本の JET による類焼試験にも合格し、
グローバル高水準市場への対応力をさらに強化

世界有数のエネルギー貯蔵製品・ソリューションプロバイダーであるトリナ・ストレージは、大型産業用蓄電池「Elementa 2」が TÜV SÜD による IEC 62619 認証に加え、SGS 通標による NFPA 68 および NFPA 855 認証を取得したことを発表しました。これにより、本製品は安全性、リスク耐性、システム適合性といった主要な性能面において、グローバル市場で求められる高い基準を満たしていることが改めて証明されました。



IEC 62619 は蓄電池の安全性に関する国際的な主要規格であり、衝撃・温度・電気絶縁など様々な視点からの試験項目が含まれています。また、NFPA 68 および NFPA 855 は、それぞれ爆発時の圧力緩和や蓄電システムの設置基準として、北米をはじめとする高度な安全基準が求められる市場で広く採用されています。今回の認証取得は、「Elementa 2」が世界各国での多様な運用ニーズに対応できる、安全かつ信頼性の高い蓄電システムであることを裏付ける結果となりました。



IEC 62619 認証



NFPA 68 および NFPA 855 認証

研究開発の面では、トリナ・ストレージはコスト効率を考慮しつつ、安全性と性能の最適なバランスを追求しています。セル材料自体の安全性に加え、IP55/C5 等級の高い筐体防護設定や、そして設計・製造・運用にわたる機能安全マネジメント体制を構築。製品ライフサイクル全体を見据えた一貫した安全管理体制を整備しています。これにより、国際認証取得の技術的裏付けとなると同時に、複雑な環境下でも安定した稼働を実現しています。

また、2024 年には「蓄電システムの安全信頼性ホワイトペーパー」を発表し、実機による火災シミュレーション試験を含む各種検証結果を公開。極端な条件下における熱拡散の抑制力や応答制御の有効性を示すことで、同社製品の本質的な安全性能への業界内外の信頼をさらに高めています。

加えて、日本市場においても「Elementa 2」電池パックは 2024 年 12 月、日本電気安全環境研究所(JET)による JIS C 8715-2:2019 に基づく類焼試験に合格し、この試験を通過した初の海外ブランドとして高く評価されました。火災や高温などの極限環境においても、熱暴走の抑制およびリスクを最小限に抑えることが可能であることが確認され、日本国内での導入・展開に向けた信頼性の高い基盤となっています。

2024 年末時点で、「Elementa」シリーズの累計出荷量は 10GWh を突破し、納入実績は世界 6 大陸に広がっています。今後もトリナ・ストレージは、技術革新を原動力に、品質と安全性を製品の中核に据え、グローバルパートナーとともに蓄電業界の健全な成長をけん引し、持続可能なゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

▽ トリナ・ストレージについて

トリナ・ソーラーは、2015 年よりエネルギー貯蔵分野の研究を開始し、ストレージ事業部としての基盤を築いてきました。2021 年以降は、「トリナ・ストレージ」として独立した体制を確立し、電池セルからシステム、ソリューションまでを一貫して手がける垂直統合型の BESS ソリューションプロバイダーとして事業を本格展開しています。現在、世界 100 社以上のパートナーと連携し、完工プロジェクトは累計 5GWh 超、交渉中の案件は 70GWh 以上にのぼります。

2024 年には、蓄電システムの出荷量が前年比で 100%以上成長し、累計出荷量は 10GWh を突破。中国・英国・オーストラリアでは SI(システムインテグレーター)として Top10 入りを果たしており、2025 年の出荷目標は 8~10GWh を見込んでいます。

主力製品である系統用蓄電システム「Elementa 2」は、UL、TÜV SÜD、CNAS など、国際的な第三者認証が取得済みです。特に、日本国内では JET による類焼試験(JIS C 8715-2:2019)に 2024 年 12 月に合格し、この試験に通過した初の海外ブランドとしても注目を集めています。

研究開発面では、蓄電池研究所、電力エレクトロニクス技術センター、蓄電工学技術センター、デジタルエネルギー研究所の 4 拠点を中心に、コスト効率・安全性・性能の最適バランスを追求。製造拠点としては中国・滁州および塩城にスマートスーパーファクトリーを設け、量産体制と安定供給を実現しています。

▽ トリナ・ソーラー(SH 証券コード:688599)について

トリナ・ソーラーは太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供するグローバルリーダーです。1997年に太陽光発電システムのインテグレーターとして設立されたトリナ・ソーラーは現在太陽光発電製品、太陽光発電システム、スマートエネルギーソリューションの3つの事業を世界170ヶ国以上において展開しています。トリナ・ソーラーは「新しい産業エコシステムを創造し、太陽光発電を中心としたスマートエネルギーソリューションの先駆けになる」という戦略目標を掲げ、電力システム改革を支援し、将来的なゼロカーボン世界の実現を目指しています。

日本においては、2010年にトリナ・ソーラー・ジャパンを設立してから、国内需要に合わせて最先端のフルライン製品を展開。パートナーの皆様と多数の実績を達成してきました。

Trina Solar トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6番4号常盤橋タワー2606

<https://www.trinasolar.com/jp>

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社マーケティング部 胡 wenjing.hu@trinasolar.com